

平成 20 年度事業報告書

(平成 20 年 3 月 1 日～平成 21 年 2 月 28 日)

会員の移動状況書

会員種別	員 数		増減数	摘要
	本年度末 平成 21 年 2 月 28 日 現 在	昨年度末 平成 20 年 2 月 29 日 現 在		
名誉会員	56	57	-1	
永年会員	255	253	2	
正 会 員	5014	5113	-99	
学生会員	841	944	-103	
維持会員	252.5	252.5	0	
特別会員	672	693	-21	
公益会員	467	493	-26	
計	7557.5	7805.5	-248	

①第 49 回通常総会 (定款第 31 条)

日時 平成 20 年 4 月 18 日
場所 ゆうぼうと五反田 会議室「紅梅」 参加者数 111 名

②会誌、研究報告及び資料の刊行 (定款第 5 条(1))

- 学会誌「ぶんせき」を下記のとおり発行した。

発行年月日	巻 号	発行部数
自 平成 20 年 3 月 5 日	2008 3	8000
至 平成 21 年 2 月 5 日	2009 2	8000
- 和文論文誌「分析化学」を下記のとおり発行した。

発行年月日	巻 号	発行部数
自 平成 20 年 3 月 5 日	57 3	2800
至 平成 21 年 2 月 5 日	58 2	2800
- 英文論文誌「Analytical Sciences」を下記のとおり発行した。

発行年月日	巻 号	発行部数
自 平成 20 年 3 月 10 日	24 3	1000
至 平成 21 年 2 月 10 日	25 2	1000
- 英文論文誌「X-ray Structure Analysis Online」を次のとおり発行した (web 上のみでの発行)。

発行年月日	巻 号
自 平成 21 年 1 月 7 日	25 1
至 平成 21 年 2 月 10 日	25 2
- メールマガジンを毎月 1 回発行した (配信数 4000)。

③講演会、講習会及び研究会の開催 (定款第 5 条(2))

- [研究発表会]
- 第 69 回分析化学討論会
日時 平成 20 年 5 月 15 日～平成 20 年 5 月 16 日
場所 名古屋国際会議場 参加者数 1025 名
 - 東京コンファレンス 2008
日時 平成 20 年 9 月 3 日～平成 20 年 9 月 5 日
場所 幕張メッセ国際会議場 参加者数 718 名
 - 第 57 年会
日時 平成 20 年 9 月 10 日～平成 20 年 9 月 12 日
場所 福岡大学 参加者数 1331 名
 - Separation Sciences 2008
日時 平成 20 年 11 月 13 日～平成 20 年 11 月 14 日

場所 東京理科大学薬学部 参加者数 123 名

[講習会]

- 第 18 回分析化学基礎セミナー
日時 平成 20 年 5 月 29 日
場所 (株)日立ハイテクノロジーズ 参加者数 69 名
 - 分析信頼性実務者レベル講習会「第 10 回金属分析技術セミナー」
日時 平成 20 年 7 月 3 日～平成 20 年 7 月 4 日
場所 こまばエミナース 参加者数 32 名
 - 第 4 回「分析化学における不確かさ研修プログラム」
日時 平成 20 年 10 月 2 日～平成 20 年 10 月 3 日
場所 日本電気計器検定所本社 参加者数 21 名
 - 分析信頼性実務者レベル講習会「第 6 回土壌分析技術セミナー」
日時 平成 20 年 10 月 3 日, 平成 20 年 12 月 4 日
場所 こまばエミナース 参加者数 17 名
 - 分析信頼性実務者レベル講習会「第 9 回ダイオキシン類分析技術セミナー」
日時 平成 20 年 10 月 16 日～平成 20 年 10 月 17 日
場所 日本青年館 参加者数 46 名
 - 第 19 回分析化学基礎セミナー
日時 平成 20 年 11 月 26 日
場所 岡山大学理学部 参加者数 56 名
 - 分析信頼性実務者レベル講習会「第 12 回水中の微量金属分析」
日時 平成 20 年 10 月 17 日, 平成 21 年 1 月 16 日
場所 家の光会館 参加者数 25 名
 - 分析信頼性実務者レベル講習会「第 7 回セラミックス原料・鉱石類分析技術セミナー」
日時 平成 20 年 10 月 3 日～平成 20 年 12 月 5 日
場所 ゆうぼうと五反田 参加者数 16 名
 - 分析信頼性実務者レベル講習会「第 5 回プラスチック中有害金属成分の化学分析技術セミナー (有害物質規制/RoHS 指令対応)」
日時 平成 20 年 11 月 13 日～平成 20 年 11 月 14 日
場所 明治大学駿河台キャンパス 参加者数 21 名
 - 第 20 回分析化学基礎セミナー
日時 平成 21 年 1 月 20 日
場所 飯田橋レインボービル 参加者数 29 名
- ④調査、研究及び建議 (定款第 5 条(3))
- [JIS]
- 日本規格協会の委託に基づき、JIS K0108「排ガス中の硫化水素分析方法」規格原案作成委員会を組織して制定のための建議を行った。
- [技能試験]
- 事業所を対象とした技能試験を次のとおり実施し、結果に基づく「技能試験成果報告書」並びに「分析化学」誌上の論文を公開した。
 - ISO/IEC ガイド 43-1 に基づく技能試験「第 2 回トレーサビリティと不確かさ理解のための分析技能試験」
日時 平成 20 年 7 月 21 日～ 参加事業所数 52 機関
 - ISO/IEC ガイド 43-1 に基づく技能試験「第 10 回ダイオキシン類分析 (ばいじん)」
日時 平成 20 年 8 月 22 日～ 参加事業所数 90 機関
 - ISO/IEC ガイド 43-1 に基づく技能試験「第 5 回食品成分の分析」
日時 平成 20 年 11 月 14 日～ 参加事業所数 56 機関
 - ISO/IEC ガイド 43-1 に基づく技能試験「第 5 回プラスチック中有害金属成分の分析 (有害物質規制/RoHS 指令対応)」
日時 平成 20 年 12 月 22 日～ 参加事業所数 113 機関
 - 水中の重金属分析 (日本環境測定分析協会との共同主催)
日時 平成 20 年 6 月 16 日～ 参加事業所数 450 機関
- [標準物質]
- これまで開発してきた各種標準物質の保管、管理並びに社会への供給活動を継続して実施した。また、以下の標準物質の開発を新たに行い社会への供給活動を行った。

無機成分分析用石炭灰認証標準物質 2 水準, JSAC0521, JSAC0522

[関係団体との協力]

- 関連学術団体等が主催する研究会等に次のとおり協力した。
国際会議: 9月28日 The 15th International Conference on Flow Injection Analysis (共催) ほか11件
展示会: 9月3日 2008分析展(後援) ほか7件
討論会並びに講習会等: 3月7日 プラズマ分光分析研究会第72回講演会(協賛) ほか113件
- 次の諸団体に参画し, 種々の調査, 建議に協力した。
学術会議協力団体
日本化学連合
化学関係学協会連合協議会
JABEE/化学分野 JABEE 委員会
日本工学会 PDE (技術者継続教育) 協議会委員会
化学情報協会
科学技術戦略推進機構 (JCII)
グリーンサステイナブルケミストリーネットワーク
日本工学会
- 次の団体に委員を派遣して各種規格の立案等に協力した。
(財)日本規格協会
(社)日本化学工業協会
(社)日本セラミックス協会
(財)日本適合性認定協会
(社)日本鉄鋼連盟
(社)日本分析機器工業会
(社)日本試薬協会
(社)日本環境測定分析協会
(独)産業技術総合研究所計量標準管理センター
(財)化学物質評価研究機構

[教育用 DVD]

現在頒布中の教育用ビデオを発展させた教育用 DVD の頒布をつぎのとおり開始した。
Series 2 高速液体クロマトグラフィー (HPLC)
Series 3 高速液体クロマトグラフィー質量分析法 (LC-MS)

⑤研究の奨励及び研究業績の表彰 (定款第 5 条(4))

- 2008 年度学会賞を次のとおり授与した。
尾崎 幸洋君「近赤外分光分析法の基礎と分析化学への応用に関する研究」
升島 努君「ダイナミックイメージング分子探索分析法の創成と展開」
山田 淳君「光-分子強相互作用に基づく化学計測と分析科学的展開」
- 2008 年度学会功労賞を次のとおり授与した。
高館 明君「クマリンフルオロフォアの蛍光制御に基づく蛍光試薬開発と学会への貢献」
高橋 英明君「金属酸化物被膜の構造の精密分析と機能発現に関する研究と学会への貢献」
田中 稔君「シクロデキストリンを用いるキラル分離分析法の開発と学会への貢献」
山根 兵君「高感度フローインジェクション分析法の開発と学会への貢献」
- 2008 年度技術功績賞を次のとおり授与した。
作田 庸一君「ホタテウロの有効利用のための金属分析と酸浸漬/電解プロセスの開発」
鈴木 真一君「科学捜査における乱用薬物及び微細証拠物件の分析に関する研究」
- 2008 年度奨励賞を次のとおり授与した。
上野 祐子君「メソポーラスシリカの分子認識機能とマイクロ分析デバイスへの応用」
金橋 康二君「固体 NMR による異種核間の結合連鎖構造分析技術の開発」
齋藤 伸吾君「分離分析システム用金属蛍光プローブの開発と速度論的特性を用いる高性能化」
火原 彰秀君「マイクロ・ナノ化学システムの基盤技術の

開発と分析化学的展開

内村 智博君「多光子イオン化質量分析法の高性能化とその応用」

- 2008 年度先端分析技術賞を次のとおり授与した。
先端分析技術賞 JAIMA 賞
野村 聡氏「半導体 pH センサーを用いた固体表面局所分析法の開発」
山田 憲幸氏「コロジョン/リアクションタイプの誘導結合プラズマ質量分析法の開発」

先端分析技術賞 CERI 賞

上原 伸夫氏「分離・センシング機能を有する熱応答性高分子の分析化学的応用」

- 2008 年度有功賞を次のとおり授与した (敬称略)。

大野 完治	宮本 達也	永田 義兼	鈴木 一郎
田熊 隆	首藤 次男	中原 利文	野間 学
今井 友子	中村 好一	尾畑 敏一	岩本 静夫
野村 俊秀	谷本 義文	飯田 貞博	本郷 徹男
大藤 和幸	南 正純	井形 務	大西 正三
藏下 二郎	衣川 保	藤井美知子	佐藤 悟
安部 憲司	姫野 幸	中野 輝男	金子 裕一
戸田 義久	堀江 明	菊川 孝	五十嵐吉夫
刈谷 俊満	青石 浩子	田中 督士	三杉 護
大高 伸一	小室 信一	今野 一則	生川 宗敬
木村 芳夫	野田 正美	井上 春美	大橋 仁

- 2007 年「分析化学」論文賞を次のとおり授与した。

論文題名『ガスクロマトグラフィー/プラズマガススイッチング-誘導結合プラズマ質量分析法の開発とポリ臭素化ジフェニルエーテル定量への応用』

著者名 田尾博明・中里哲也・赤坂幹男・R. B. Rajendran・E. Sofia (産業技術総合研究所・日本産業技術振興協会・Bharathidasan University・University of Sheffield) 掲載ページ「分析化学」第 56 巻第 8 号, 657~667 ページ

- 他機関による表彰及び研究助成に対して, 会員を候補者として推薦した。

⑥その他前条の目的を達成するために必要な事業 (定款第 5 条(5))

[広報]

広報委員会により, 本会の活動を記者会見, 展示, 小冊子の発行ならびにホームページを通して広報した。

[若手交流会]

若手交流会活動を次のように行った。

分析化学討論会および年会の若手企画を後援した。また討論会後に定例の若手交流会総会を開催した。東京コンファレンス 2008 において, Asia Young Analytical Chemist Sessions 2008 (AYACS 2008) を企画・運営した。

[研究懇談会]

研究懇談会活動を次のように行った。

1) 有機微量分析研究懇談会

委員会を 2 回。第 75 回有機微量分析研究懇談会シンポジウムを 5 月 29 日, 30 日, 金沢市文化ホール (金沢) で開催。(計測自動制御学会・力量計測部会と共催, 日本分析化学会中部支部, 日本化学会, 日本薬学会北陸支部協賛) で, 特別講演 1 件, 招待講演 2 件, 口頭発表 3 件, ポスター発表 22 件, その他各委員会報告および技術研修会等を行った。講演会 (第 57 年会 9 月 11 日, 福岡大学七隈キャンパス, 招待講演 1 件) を開催したほか, 会報 10 号を発行した。また, 有機微量分析研究懇談会編集「役にたつ有機微量元素分析」を出版した。

2) ガスクロマトグラフィー研究懇談会

開催数: 8 回 (第 288~295 回, 50 周年記念特別講演会, 東京コンファレンス講習会, 見学会, 日中韓研究発表会, Separation Sciences 2008 を含む)。又, 第 14 回キャピラリーガスクロマトグラフィー講習会 (7 月 30~8 月 1 日, 首都大学東京) を開催した。

- 3) 高分子分析研究懇談会
開催数：5回（第342～346回）。又、第36回・第37回高分子分析技術講習会（工学院大学新宿校舎）、第13回高分子分析討論会（11月26・27日、名古屋国際会議場）で開催したほか、高分子分析ハンドブック（第4版）を刊行した。
- 4) X線分析研究懇談会
開催数：3回（第227～229回）。又、「X線分析の進歩」第39集をアグネ技術センターより出版したほか、第16回X線分析講習会（7月14～7月16日、東京理科大学）、東京コンファレンス講習会（9月5日、幕張メッセ）、第44回X線分析討論会（11月18～19日、日本女子大学）で開催した。
- 5) 分析試薬研究懇談会（旧有機試薬研究懇談会）
開催数：1回。第66回分析試薬研究懇談会（9月12日、福岡大学、講演1件）を開催した。また、講演会1回、シンポジウム1件の共催とホームページのリニューアルを行った。
- 6) 溶液界面研究懇談会
開催数：1回。福岡大学で開催された第57年会の「界面・微粒子」セッションの中で、2件の講演（9月12日）を行った。また、分析化学学会年会における界面に関するセッションの維持を図った。このほか、「Analytical Sciences」誌において関連の特集を編集し、関係者に投稿を呼びかけると共に、多数の論文を受け付けた。
- 7) 液体クロマトグラフィー研究懇談会
開催数：9回（第210～219回）。特別講演会見学会2回。又、Separation Sciences 2008、第14回LCテクノプラザ（1月29～30日、東京理科大学）、LC-DAYS 2008（11月27・28日、熱川ハイッ）を開催した。
- 8) 化学センサー研究懇談会
ポーラログラフ研究会、電気学会、電気化学会などと協力し、日本分析機器工業会の支援を受け、9月4日に「第2回センサー研究会合同ワークショップ」（幕張メッセ）を開催した。また、9月12日に日本分析化学会第57年会（福岡大学）にて招待講演2件を行った。
- 9) 電気泳動分析研究懇談会
研究懇談会講演会（9月12日、日本分析化学会第57年会「福岡大学」にて講演1件）および第28回キャピラリー電気泳動シンポジウム（11月13～17日、首都大学東京南大沢キャンパス）を開催した。
- 10) イオンクロマトグラフィー研究懇談会
運営委員会開催数：3回。日本分析化学会第57年会及びイオンクロマトグラフィー講演会（9月10～12日、福岡大学）、中日韓環境分析シンポジウム（11月2～5日、中国、アモイ）、Separation Sciences 2008及びICフォーラム（11月13・14日、東京理科大学）を開催し、適宜メールにて会員に関連情報を配布した。また、IC単行本を発行するために編集作業を進め、平成21年3月中に脱稿することになっている。さらに、「分析化学教育用ビデオ」の内容改訂およびDVD化を進めるための準備委員会を開催した。
- 11) フローインジェクション分析研究懇談会
国際会議ICFIAと25周年記念講演会を主催し（9月28日～10月3日、愛知工大・名古屋ガーデンパレス）、その他の講演会を3回（年会開催時9月11日、福岡大）、2008中日韓環境分析化学シンポジウム（11月2～5日、中国、アモイ）、Separation Sciences 2008（11月13～14日、東京理科大学）、技術講習会を東京コンファレンス開催時に1回（第10回FIA技術講習会（9月4日、幕張メッセ）開催したほか、Journal of Flow Injection Analysis誌の発行（25巻1・2号）のための編集委員会を1回（5月14日、愛知工大）、また褒賞委員会を1回（5月14日、愛知工大）開催した。
- 12) 環境分析研究懇談会
講演会を2回（第13回を9月10日第57年会にて、第14回を11月26日全日本科学展にて）、運営委員会を

1回開催した。メーリングリストにおいて関連情報を会員各位に適宜提供した。また、2008 CJK Symposium on Environmental Analytical Chemistry（廈門、中国）、Nov. 2-5, 2008の日本側懇談会メンバーに参加した。さらに、「分析化学」誌に「環境分析の今日」と題した特集号を企画した（2009年4号）。

13) 表示・起源分析技術研究懇談会

勉強会2回（7月11日東京理科大学、10月9日化学会館）を開催した後、12月12日に研究懇談会として正式に発足した。

【支部】

支部活動を次のように行った。

【北海道支部】

1. 役員を選任

支部長	齋藤 健			
副支部長	嶋津 克明（次期支部長）	片山 則昭		
参 与	菖蒲 明己	石橋 靖	井上 貞信	
	大下 敏夫	大橋 弘士	尾谷 賢	菊地 雅彦
	佐々木陽一	澤田 幸治	多賀 光彦	田中 泰彦
	都築 俊文	藤間 貞彦	富田 勤	中野 益男
	那須 淑子	西口 信弘	橋本 俊	長谷部 清
	松尾 洋二	松久 喜一	松永 勝彦	横澤 龍朗
	吉田 仁志			
監 査	田中 俊逸	神 和夫		
庶務幹事	伊藤 慎二	千葉 真弘		
会計幹事	蔵崎 正明	佐藤千鶴子		
幹 事	池田 俊朗	石坂 昌司	石田 晃彦	
	板橋 豊	伊藤 純一	伊藤八十男	宇都 正幸
	大澤 雅俊	荻野 博	奥山 祐治	小澤 幸男
	嶋崎 悌司	片岡 正光	加藤 正隆	加藤 昌子
	上館 民夫	河崎 孝夫	菅 正彦	喜多村 昇
	工藤 勲	工藤 英博	久万 健志	黒澤 隆夫
	國仙 久雄	金野 英隆	佐伯 功	坂入 正敏
	佐々木胤則	佐藤 正知	佐藤 準	高木 英利
	高橋 徹	高橋 英明	田邊 博義	谷 博文
	田原るり子	坪井 泰之	豊田 和弘	長尾 誠也
	永洞真一郎	中村 博	西村 一彦	乗木新一郎
	古月 文志	福嶋 正巳	藤井 清志	藤吉 亮子
	古崎 睦	三浦 敏明	南 尚嗣	諸角 達也
	森田みゆき	山田 幸司	吉田 登	吉村 昭毅

2. 研究発表会

- 1) 夏季研究発表会（共催）：7月20日、北見工業大学で開催、一般講演144件、特別講演2件、懇親会を行った（参加者262名）。
 - 2) 化学教育研究協議会（共催）：11月8日、北海道大学地球環境科学研究院で開催、講演1件、高校生による情報提供、分析化学若手教育研究者による話題提供、自由討論、懇親会を行った（参加者36名）。
 - 3) 冬季研究発表会（共催）：2月3・4日、北海道大学学術交流会館で開催、研究発表146件、特別講演2件、受賞講演7件、懇親会を行った（参加者292名）。
- ##### 3. セミナー
- 1) 分析化学緑陰セミナー：6月28・29日、滝野すずらん丘陵公園青少年山の家にて開催、講演4件、ポスター講演20件、懇親会を行った（参加者75名）。
 - 2) 公開セミナー：9月10日、旭川工業高等専門学校で開催、講演2件、懇親会を行った（参加者88名）。
 - 3) 氷雪セミナー：1月10・11日、かんばんの宿小樽で開催、講演4件、懇親会を行った（参加者33名）。

【東北支部】

1. 役員を選任

支部長	寺前 紀夫			
次期支部長	安齊 順一			
副支部長	小谷 卓	末永 智一		
参 与	秋葉 健一	阿部 重喜	石井 一	
	石田 良栄	宇野原信行	大類 洋	荻野 博
長 哲郎	小田嶋次勝	佐藤 允美	鈴木 進	

鈴木 信男 南原 利夫 広川吉之助 目黒 照
 山崎 慎一 四ツ柳隆夫
 監 事 平山 和雄 我妻 和明
 庶務幹事 壹岐 伸彦
 会計幹事 高橋 透
 在仙常任幹事 赤坂 和昭 芦野 哲也 井上 亮
 井原 忠雄 久保 拓也 後藤 貴章 佐々木雅浩
 猿渡 英之 渋川 博彦 下村 芳樹 鈴木 巖
 曾我 和文 西澤 精一 橋本 幹雄 平野 愛弓
 星 友典 細矢 憲 眞野 成康 山口 央
 山下 幸和 和久井喜人
 地区常任幹事 岩田 吉弘 遠藤 昌敏 尾形 健明
 押手 茂克 菊池 洋一 佐藤 健二 鈴木 清晴
 高具 慶隆 照井 教文 中村 重人 糠塚いそし
 福島美智子 藤原 一彦 細野 長悦 水口 仁志
 渡辺 忠一
 幹 事 安斉 順一 大江 知行 大関 邦夫
 小川 信明 彼谷 邦光 北爪 英一 後藤 順一
 斎藤 紘一 佐藤 洋 鈴木 敏重 玉木 洋一
 朽山 修 星野 仁 松永 英之 村本 光二

2. 研究発表会

- 平成20年度化学系学協会東北大会(共催):10月11~13日,八戸工業大学で開催,口頭発表91件,ポスター発表204件,特別講演4件,依頼講演11件のほか,特別企画として1件のコロキウムを行った。懇親会を行った。
- みちのく分析科学シンポジウム2008(第2回)(主催):7月19日,東北大学青葉記念会館にて開催,依頼講演2件,ポスター発表46件を行った。
- 秋田化学技術協会第43回研究技術発表会ならびに特別講演会(共催):12月5日,秋田大学VBL大セミナー室で開催,研究技術発表12件,特別講演2件を行った。懇親会を行った。

3. 講習会

なし

4. セミナー

- 分離機能とセンシング機能の化学セミナー2008(主催):3月22日(土),東北大学金属材料研究所にて開催,依頼講演3件を行った。
- 第25回無機・分析化学コロキウム(共催):5月30~31日,川渡セミナーハウスにて開催,招待講演3件,依頼講演7件を行った。
- 平成20年度分析化学若手交流会(主催):7月18~19日,秋保ホテルクレセントにて開催,招待講演4件,依頼講演5件を行った。
- 東北大学金属材料研究所ワークショップ(協賛):12月1日,東北大学金属材料研究所にて開催,依頼講演27件を行った。

【関東支部】

1. 役員を選任

支 部 長 楠 文代
 副支部長 渋川 雅美(次期支部長) 菅原 正雄
 本 田 俊哉
 参 与 赤岩 英夫 今枝 一男 梅澤 喜夫
 小熊 幸一 大橋弘三郎 合志 陽一 酒井 馨
 澤田 清 杉谷 嘉則 高田 芳矩 高村喜代子
 田中 龍彦 中澤 裕之 中埜 邦夫 中村 洋
 二瓶 好正 平井 昭司 不破敬一郎 藤原 鎮男
 藤原祺多夫 保母 敏行 矢野 良子 山根 兵
 山本 勝巳 綿拔 邦彦
 監 事 田中 美穂 中村 幸二
 常任幹事 会田 秀樹 相本 道宏 荒武 幸子
 金子 毅 狩野 直樹 川久保 進 川田 哲
 金 幸夫 久保いづみ 斉藤 貢一 佐藤 記一
 渋沢 庸一 菅原 一晴 鈴木 康志 谷合 哲行
 谷川 建一 津越 敬寿 野呂 純二 袴田 秀樹
 早下 隆士 火原 彰秀 藤野 竜也 前田 瑞夫

山本 博之 由井 宏治
 支 部 幹 事 伊藤 克敏 伊藤 里恵 梅香 明子
 小田中芳治 久留須一彦 鹿籠 康行 敷野 修博
 豊田 太郎 野口 康成 永山 敏廣 平野 義博
 堀田 弘樹 松江 秀明 馬渡 健一 森田 孝節
 鎗田 孝 和久井隆行

2. 研究発表会

第22回新潟地区部会研究発表会:9月19日,ウエルシティ新潟で開催,特別講演2件,一般講演6件,情報交換会を行った。

3. 講習会

- 第49回機器分析講習会(日本分析機器工業会後援):第1コース,6月19~20日,第2コース,7月2~4日,第3コース,7月24~25日,エスアイアイ・ナノテクノロジー,東京理科大学,島津製作所で開催した。
- 第12・13回環境分析基礎講座:8月25~27日,東京理科大学,2月5~6日,パーキンエルマー・ジャパンで各々開催した。

4. 講演会

- 関東支部懇話会:3月21日,ゆうぼうと五反田で開催,講演5件及び交流会を行った。
- 第5回茨城地区分析技術交流会:10月31日,テクノ交流会館リコッティで開催,特別講演5件及びポスターセッションを行った。
- 栃木地区講演会:12月11日 宇都宮大学で開催した。

5. セミナー

- 第1回分析化学若手交流会:6月30日・7月1日,晴海グランドホテルで開催,分析化学若手研究者・参加学生による話題提供,総合討論,交流会を行った。
- 第1回若手セミナー:11月13日,東京大学生産技術研究所にて開催した。
- 新年交流会:1月9日,「ゆうぼうと」において開催。

6. 支部ニュースの発行

関東支部ニュース第19号を発行した。

【中部支部】

1. 役員を選任

支 部 長 湯地 昭夫
 次期支部長 藤本 忠蔵
 副支部長 上田 穰一 宇野 文二
 顧 問 石井 大道 板谷 芳京 上田 俊三
 河口 廣司 木羽 敏泰 小辻 奎也 佐々木与志実
 柴田 正三 鈴木 正巳 田中 元治 寺田喜久雄
 野村 昇 村田 旭 山寺 秀雄 山本 善一
 参 与 池田 篤治 酒井 忠雄 田口 茂
 柘植 新 中村 俊夫 野村 俊明 長谷川 淳
 舟橋 重信 本浄 高治 三輪 智夫 山田 碩道
 山田 真吉
 監 事 太田 清久 竹内 豊英
 庶務幹事 高田 主岳
 会計幹事 奥山 修司
 常任幹事 勝又 英之 北川 慎也 金 継業
 栗原 誠 小泉 貞之 渡慶次 学 服部 敏明
 平山 直紀 宮部 寛志 森川 久
 幹 事 飯國 良規 石井 勝 市田 淳一
 一ノ木 進 梅村 知也 大野 典子 大橋 芳明
 小澤 秀明 加藤 昌俊 儀賀 義勝 北川 邦行
 熊澤 茂則 呉 行正 篠原 直行 清 悦雄
 妹尾 健吾 高木 秀夫 巽 広輔 袋布 昌幹
 柘植 明 手嶋 紀雄 藤平蔵 芳光 鳥羽 陽
 林 哲生 阪野 二郎 肥田 宗政 平出 正孝
 牧 輝弥 松島 良明 松宮 弘明 元森 涉
 柳沢 雅明 山内 伸一 山形 茂 四津 佳伸
 米田 篤司 リムリーワ 渡辺 光義

2. 研究発表会

- 第39回中部化学関係学協会支部連合秋季大会:11月8・9日,名古屋大学全学共通教育棟ほかで開催,特別討論会講演7件(招待講演2件,依頼講演5件),一般

講演 19 件を行った (参加者: 約 60 名)。

- 2) International Conference on Flow Injection Analysis (ICFIA08): 9月28日~10月3日, 愛知工業大学・名古屋ガーデンパレスで開催, 招待講演 5 件, 一般講演 39 件, ポスター発表 121 件を行った (参加者 202 名)。

3. 講演会

- 1) 北陸地区講演会: 6月20日, 金沢大学自然科学研究科で開催, 講演 2 件を行った (参加者 118 名)。
- 2) 三重地区講演会: 11月28日, 三重大学工学部で開催, 講演 3 件を行った (参加者 32 名)。
- 3) 愛知地区講演会: 12月22日, 豊橋技術科学大学講義棟で開催, 講演 3 件を行った (参加者 50 名)。
- 4) 訪日学者講演会: 11月26日, 愛知工業大学総合技術研究所 2F 視聴覚室で開催, 講演 1 件を行った (参加者 30 名)。

4. 講習会

- 1) 第 18 回基礎及び最新の分析化学講習会: 11月27・28日, 富山県教育文化会館で開催, 講義 10 件を行った (参加者 1 日目 47 名, 2 日目 48 名)。

5. セミナー

- 1) 第 27 回分析化学中部夏期セミナー: 8月18~19日, うすずみ温泉四季彩館で開催, 招待講演 2 件, 新製品紹介講演 2 件, ポスター発表 36 件を行った (参加者 82 名)。
- 2) 「分析中部・ゆめ 21」若手交流会・第 8 回高山フォーラム: 11月21~22日, 高山市図書館, お宿「山久」で開催, 依頼講演 1 件, ポスター発表 40 件を行った (参加者 54 名)。

【近畿支部】

1. 役員の内任

支 部 長	尾崎 幸洋
次期支部長	澁谷 康彦
前支部長	紀本 岳志
副支部長	荒川 隆一 大塚 浩二
監 事	市村 彰男 垣内 隆
庶務幹事	文珠 四郎 秀昭 久本 秀明
会計幹事	白井 理 小畑 俊嗣
参 与	池田 重良 宇野 豊三 大井 尚文
岡 正太郎	小川 禎一郎 木村 優 日下 譲
小島 次雄	佐伯 正夫 佐藤 昌憲 庄野 利之
千田 貢	滝山 一善 田中 久 田中 稔
辻 治雄	寺部 茂 中川 照真 中原 武利
浜口 隆信	原 正 藤永 太一郎 穂積 啓一郎
増田 嘉孝	松井 正和 渡辺 巖 渡會 仁
常任幹事	今北 毅 内原 博 河合 潤
久保 埜公二	宗林 由樹 杉山 裕子 高橋 弘樹
竹田 さほり	中西 和樹 中山 茂吉 藤原 学
前田 初男	丸尾 雅啓 三木 功次郎 吉田 裕美
幹 事	足立 吟也 池川 繁男 石井 秀司
石井 裕子	石田 英之 岩月 聡史 岩本 仁志
上田 啓太	上原 章寛 宇田 亮子 鶴藤 雅裕
梅谷 重夫	越後谷 みどり 大石 晴樹 大植 正敏
大内 幹雄	大神 泰孝 大塚 利行 岡林 義人
岡本 篤彦	小久見 善八 尾関 徹 小堤 和彦
小山 宗孝	糟野 潤 加納 健司 柄谷 肇
川崎 英也	河野 宏彰 喜多 純一 北川 文彦
北出 達也	北村 進一 北山 辰樹 木村 恵一
熊谷 哲	黒田 義弘 小池 亮 小林 典裕
齋藤 恵逸	坂本 英文 佐々木 隆之 椎木 弘
下野 辰久	下山 昌彦 白石 晴樹 杉浦 眞喜子
杉原 崇康	杉山 雅人 鈴江 崇彦 鈴木 茂生
須志田 一義	諏訪 雅頼 瀬渡 長武 高川 悌二
竹田 菊男	田中 浩三 田中 信男 谷口 一雄
千熊 正彦	茶山 健二 塚越 一彦 塚原 敬一
辻 幸一	角井 伸次 津村 ゆかり 寺田 靖子
土江 秀和	中 啓人 長岡 勉 中口 譲
中村 裕司	西 直哉 西岡 洋 野崎 敏則

野村 聡	野村 恵章	萩中 淳	張野 宏也
東 昇	姫野 貞之	福士 恵一	藤居 義和
藤田 登美雄	藤田 芳一	藤嶽 暢英	藤野 治
藤原 英明	藤森 啓一	堀 智孝	前田 耕治
前田 拓巳	町田 佳男	松下 隆之	松田 十四夫
松村 竹子	水谷 文雄	三田村 邦子	三戸 彩絵子
向井 浩	村井 重夫	村松 康司	室谷 正彰
森内 隆代	森下 富士夫	森田 尚文	守安 正恭
八尾 俊男	矢坂 裕太	矢嶋 撰子	山内 雄二
山口 敬子	山田 悦	山田 隆	山田 秀和
山本 孝	山本 雅博	横井 邦彦	吉岡 正則
脇田 慎一			

2. 講演会

- 1) 近畿分析技術研究懇話会第 11 回講演会 (共催): 3月6日, 大阪科学技術センターで開催, 講演 2 件を行った。
- 2) 第 1 回支部講演会: 4月17日, 大阪科学技術センターで開催, 講演 2 件を行った。
- 3) 第 28 回石橋雅義先生記念講演会 (共催): 4月28日, 京都大学百周年時計台記念館で開催, 講演 2 件を行った。
- 4) 第 2 回支部講演会: 12月4日, 大阪科学技術センターで開催, 講演 2 件を行った。
- 5) 第 4 回近畿分析技術研究奨励賞受賞講演会: 1月8日, 大阪科学技術センターで開催, 講演 1 件を行った。

3. 講習会

- 1) 第 5 回基礎分析化学講習会: 6月27日, 大阪市立大学で開催, 講義を行った。
- 2) 第 55 回機器による分析化学講習会: 7月24~25日, 京都大学で開催, 実習 6 件を行った (受講者 60 名)。
- 3) 第 1 回基礎分析化学実習: 8月7日, 滋賀県立大学で開催, 講義, 実習を行った。
- 4) 第 2 回基礎分析化学実習: 10月22日, 紀本電子工業で開催, 講義, 実習を行った。
- 5) 第 3 回基礎分析化学実習: 11月8日, 京都大学で開催, 講義, 実習を行った。

4. セミナー

- 1) 第 1 回提案公募型セミナー: 4月3日, 大阪科学技術センターで開催, 講演 1 件, 討論を行った。
- 2) 第 2 回提案公募型セミナー: 6月17日, 大阪科学技術センターで開催, 講演 3 件, 討論を行った。
- 3) 第 2 回平成夏期セミナー: 8月19~21日, 白浜荘で開催, 講演 8 件, 討論を行った。
- 4) 第 3 回提案公募型セミナー: 11月29日, 神戸大学で開催, 講演 5 件を行った。
- 5) 第 4 回提案公募型セミナー: 1月31~2月1日, 京都大学白浜海の家で開催, 講演 2 件, 実習 1 件, 討論を行った。
- 6) 第 5 回提案公募型セミナー: 2月27日, けいはんなプラザで開催, 講演 3 件, 実習 3 件を行った。

5. 支部ニュースを 4 回発行した。

【中国四国支部】

1. 役員の内任

支 部 長	本 仲 純子
次期支部長	田 頭 昭二
副支部長	中 野 恵文 和 田 修治
参 与	池 田 早苗 今 井 嘉彦 岩 知 道 正
	小 倉 興太郎 木 卜 光夫 木 曾 義之 熊 丸 尚宏
	澤 本 博道 下 村 滋 出口 正一 桐 榮 恭二
	野 崎 亨 松 尾 博 宮 田 晴夫 森 田 秀芳
	山 崎 恒博
監 事	奥 村 稔 仲 嶋 正樹
庶務幹事	上 田 忠治 竹 内 政樹 塚 原 聡
	藪 谷 智規
会計幹事	伊 藤 一明 竹 田 一彦
常任幹事	石 井 孝浩 泉 雅典 大 中 道 俊亮
	川 端 豊喜 菊 地 正 善 木 道雄 竹 味 弘勝
	田 中 秀治 千 野 淳 千 野 啓伸 富 樫 房夫

徳永 裕司 中山 雅晴 平田 静子 廣川 健
藤原 薫 藤原 照文 北條 正司 前川 尚
前田 繁則 升島 努 真鍋 敬 本水 昌二
森谷 好光 山岡 和則 山根 幸洋 吉屋 晴夫
若林 茂夫

幹 事 今井 昭二 岩本 悦郎 受田 浩之
大島 光子 興津 清 尾上 晃一 勝 孝
北崎 裕一 小松原恒生 佐竹 弘 清家 泰
高柳 俊夫 田中 一彦 田中 俊行 谷村 俊史
田村 雅夫 千葉 潔 常定 健 鶴田 泰人
永阪 文惣 長野 博紀 西本 潤 服部喜久男
早川慎二郎 樋口 徹憲 樋口 浩一 藤原 勇
前田 道男 宮田 和久 山崎 重雄 山下 浩
横田 宣夫

2. 研究発表会

- 1) プラズマ分光分析研究会 第73回講演会(協賛)5月9日, 勸ひろしま産業振興機構(広島市)で開催, 講演7件および懇親会を行った(参加者52名)。
- 2) 2008日本放射化学会年会・第52回放射化学討論会(共催)9月25~27日, 広島大学霞キャンパス(広島市)で開催, 特別講演5件, 依頼講演11件, 一般発表121件(口頭61件, ポスター60件)および懇親会を行った(参加者約200名)。
- 3) 第5回ナノ・バイオ・インフォ化学シンポジウム(共催)12月13・14日, 広島大学学生会館レセプションホール(東広島市)で開催, 口頭発表24件および懇親会を行った(参加者109名)。

3. 講演会

- 1) 中国四国支部分析化学講演会:3月7日, 岡山大学理学部で開催, 講演4件および情報交換会を行った(参加者50名)。
- 2) 鳥取地区講演会(鳥取総合分析研究懇談会と共催):7月5日, 鳥取大学地域学部で開催, 講演3件および情報交換会を行った(参加者104名)。
- 3) 周南地区講演会(周南地区コンビナート分析研究会と共催):12月5日, 出光興産徳山製油所本館事務所3階講堂で開催, 講演3件および情報交換会を行った(参加者60名)。
- 4) 山口地区講演会(山口機器分析研究会と共催):12月12日, 山口大学理学部会議室で開催, 講演2件および情報交換会を行った(参加者70名)。
- 5) 高知地区講演会(高知地区分析技術懇談会と共催):12月13日, 高知大学総合研究棟2階会議室1で開催, 講演2件および情報交換会を行った(参加者40名)。
- 6) 島根地区講演会(島根環境分析化学・陸水化学懇話会と共催):2月7日, 島根大学総合理工学部1号館化学大学院講義室で開催, 講演2件および情報交換会を行った(参加者27名)。
- 7) 徳島地区講演会(徳島地区分析技術研究会と共催):2月20日, 徳島大学工業会館で開催, 講演4件および情報交換会を行った(参加者74名)。
- 8) 愛媛地区講演会(愛媛地区分析技術懇談会と共催):2月26日, 愛媛大学総合研究棟16階会議室で開催, 講演2件および情報交換会を行った(参加者25名)。
- 9) 広島地区講演会(広島地区分析技術研究会と共催):2月27日, 広島大学学生会館レセプションホールで開催, 一般講演4件, 研究発表3件および情報交換会を行った(参加者47名)。
- 10) 岡山地区講演会(岡山地区分析技術懇談会と共催):2009年3月9日, 岡山大学理学部第11講義室で開催, 講演2件, 研究紹介5件および情報交換会を行った(参加者70名)。
- 11) 外国人学者講演会:5月13日, 広島大学大学院理学研究科で開催, Renato Zenobi教授(スイス, ETH)の講演1件を行った(参加者54名)。

4. 講習会

第45回分析化学講習会:8月7~8日, 徳島大学蔵本キャンパス(徳島市)で開催, 「生物・環境試料の前処理技術と先端分析法」の主題で, 特別講演2件, 基調講演1件, 講義10件, 実習12種類および懇親会を行った(参加者56名)。

5. セミナー

第14回中国四国支部分析化学若手セミナー:7月26~27日, 国立青少年教育振興機構国立室戸青少年自然の家(室戸市)で開催, 依頼講演2件, ポスター講演32件および懇親会を行った(参加者59名)。

6. その他

中国四国支部創立50周年記念会:11月14日, 広島大学霞キャンパス広仁会館(広島市)で開催, 招待講演3件, 感謝状贈呈式および懇親会を行った(参加者108名)。

【九州支部】

1. 役員の選任

支 部 長	横山 拓史				
次期支部長	下田 満哉				
副支部長	岩永 達人	富安 卓滋			
参 与	飯盛喜代春	岩崎 正武	大賀 一也		
	大倉 洋甫	箴島 豊	兼島 清	鎌田 薩男	
	合屋周次郎	小林 宏	高木 誠	竹田津富次	
出 口	俊雄	増田 義人			
監 査	山口 政俊	屋形 直明			
庶務幹事	梅林 泰宏				
会計幹事	岡上 吉広				
常任幹事	石黒 慎一	片山 佳樹	坂田 育幸		
	下田 満哉	城 昭典	高館 明	高椋 利幸	
	中山 守雄	馬場 由成	原田 明	肥後 盛秀	
	山口 敏男	吉永鐵太郎			
幹 事	穴澤 活郎	安藤 功	石岡 寿雄		
	井上 高教	井原 敏博	今坂藤太郎	今任 稔彦	
	伊与田憲雄	氏本菊次郎	内田 耕次	内村 智博	
	内海 英雄	大浦 博樹	大木 章	大久保宗隆	
	大庭 義史	大森 保	甲斐 雅亮	影浦 光義	
	加藤 祐子	金田 隆	河済 博文	川原 正博	
	神崎 亮	喜納 兼勇	木原 壯林	桐山 哲也	
	蔵 源一郎	栗崎 敏	黒木 広明	黒田 直敬	
	古賀 実	小嶋 誠	財津 潔	境 幸夫	
	相良 文雄	實政 勲	立木 伸明	高瀬 孝雄	
	竹中 繁織	竹原 公	宗本 武	田中 一平	
	谷口 功	田端 正明	土田 博	戸田 敬	
	中島憲一郎	中島 俊男	中嶋 直敏	永瀬 誠	
	中園 学	中野 賢一	中野 幸二	西 敏郎	
	能田 均	野口 英行	浜瀬 健司	原口 浩一	
	平尾 良光	平田 紀行	廣中 博見	堀口 大吉	
	馬 廷麗	増田 寿伸	松井 利郎	松岡 信明	
	松田 直樹	松野 康二	松本 清	満尾 良弘	
	宮島 徹	村田 正治	盛田 昭夫	森山 慶	
	柳 雅之	山田 淳	吉塚 和治	吉田 烈	
	吉田 秀幸	吉留 俊史	吉村 和久	米山 敏夫	
	脇田 久伸	和田 光弘			

2. 研究発表会

- 1) 第45回化学関連支部合同九州大会(共催):7月5日, 北九州国際会議場で開催。分析化学関連は依頼講演1件, ポスター講演58件, 懇親会を実施。優秀ポスター発表4件を「九州分析化学ポスター賞」として表彰。
- 2) 2008年日本化学会西日本大会(学会の共催):11月15~16日, 長崎大学文教キャンパスで開催。

3. 講演会

- 1) 第21回九州分析化学若手の会・春の講演会(主催):5月10日, 九州大学伊都キャンパスで開催。講演3件, 情報交換会を実施(参加者16名)。
- 2) 九州支部講演会・見学会(主催):11月28日講演会を東和大学で開催。特別講演1件, 九州分析化学会賞

受賞講演 2 件, 見学会 (九州電力総合研究所) を実施 (参加者 49 名)。

4. 講習会

1) 第 49 回分析化学講習会 (主催): 8 月 6~8 日, 九州産業大学工学部で開催。講義 3 件, 講習 6 件, 情報交換会を実施 (受講者 74 名)。

2) 機器分析ワークショップ (主催): 11 月 4~7 日, 九州大学箱崎地区で開催。講演・出展 4 社受講者 64 名。

5. セミナー

1) 第 26 回九州分析化学若手の会・夏季セミナー (主催): 7 月 28~29 日, 火の国ハイツで開催。特別講演 2 件, 九州分析化学奨励賞受賞講演 4 件, 模範ポスター発表 6 件, 一般ポスター発表 74 件, 情報交換会を実施。優秀ポスター発表 7 件を「九州分析化学若手賞」として表彰 (参加者 158 名)。

6. 支部ニュース

支部ニュース第 18 号 (6 月) 及び第 19 号 (2 月) を発行。

セラミックス原料・鉱石類分析技術セミナー

土壌分析技術セミナー

プラスチック中有害金属成分の化学分析技術セミナー

分析化学基礎セミナー

食品分析技術セミナー

分析化学における不確かさ研修プログラムセミナー

その他

• ISO/IEC ガイド 43-1 (JIS Q 0043-1) に基づく分析試験所技能試験を行う。参加試験所数: 合計 800 社

予定テーマ

ダイオキシン類成分分析

プラスチック中有害金属成分の分析

食品成分の分析

トレーサビリティと不確かさの理解度を確保する分析

土壌中の重金属分析

その他

• 関連学協会並びに団体の講演会, 講習会及び研究会の開催を共催又は協賛する。

平成 21 年度事業計画書

(平成 21 年 3 月 1 日~平成 22 年 2 月 28 日)

①通常総会の開催 (定款第 31 条)

第 50 回通常総会を下記のとおり行う。

日時 平成 21 年 4 月 17 日 (金) 11 時より

場所 ゆうぼうと五反田 (東京都品川区西五反田 8-4-13) 参加予定者数 150 人。

②会誌, 研究報告及び資料の刊行 (定款第 5 条(1))

• 学会誌「ぶんせき」を下記のとおり発行する。

2009 年第 3 号~2010 年第 2 号 毎月 1 回, 5 日に発行 (各号 A4 判, 130 ページ)。発行部数 8100。

• 和文論文誌「分析化学」を下記のとおり発行する。

第 58 巻第 3 号~第 59 巻第 2 号を毎月 1 回, 5 日に発行 (各号 A4 判, 72 ページ)。発行部数 2800。

• 英文論文誌「Analytical Sciences」を下記のとおり発行する。

Vol. 25, No. 3~Vol. 26, No. 2 を毎月 1 回, 10 日に発行 (各号 A4 判, 136 ページ)。発行部数 1000。

• 英文論文誌「X-ray Structure Analysis Online」を下記のとおり発行する。

Vol. 25, No. 3~Vol. 26, No. 2 を毎月 1 回発行 (web のみによる無料公開)。

③講演会, 講習会及び研究会の開催 (定款第 5 条(2))

• 第 70 回分析化学討論会を下記のとおり行う。

日時 平成 21 年 5 月 16 日 (土)~17 日 (日)

場所 和歌山大学 (和歌山市栄谷 930) 参加予定者 750 人 演題数 400

討論主題: ①自然環境と分析化学, ②表面・界面・微粒子と分析化学, ③食の味・成分と安全に関わる分析化学

• 東京コンファレンス 2009 を下記のとおり行う。

日時 平成 21 年 9 月 2 日 (水)~4 日 (金)

場所 幕張メッセ (千葉市美浜区中瀬 2-1) 参加予定者数 未定 演題数 未定

• 第 58 年会を下記のとおり行う。

日時 平成 21 年 9 月 24 日 (木)~26 日 (土)

場所 北海道大学 (札幌市北区) 参加予定者数 1300 人 演題数 800

• Separation Sciences 2009 を行う。

日時, 場所, 参加予定者数, 演題数 未定

• 分析技術者の技能訓練・教育に関する講習会を行う。参加予定者数: 合計 500 名

予定テーマ

水中の微量金属成分分析技術セミナー

金属分析技術セミナー

ダイオキシン類分析技術セミナー

④調査, 研究及び建議 (定款第 5 条(3))

• 学術会議協力団体としての活動を行う。

• 化学連合参加団体としての活動を行う。

• JIS 規格原案作成並びに改正の作業を行う。

2008 年度より継続: JIS K 0108 「排ガス中の硫化水素分析方法」

2009 年度に開始: JIS K 0050 「化学分析方法通則」

• 関連団体からの要請に基づき委員を派遣して JIS/ISO などの各種規格の立案等に協力する。

• これまで開発してきた各種標準物質の社会への供給活動を継続して実施する。また, 新規標準物質の開発を行い社会への供給活動を行う。

2009 年度中に新たに供給するもの: ①石炭灰標準物質,

②臭素同族成分分析用プラスチック標準物質, ③有害成分分析用はんだ標準物質

• 現在頒布中の教育用ビデオを発展させた DVD 教材の開発のために作業を行う。

• グリーンサステイナブルケミストリーネットワークの活動に協力する。

• Division of Analytical Chemistry of the European Association for Chemical and Molecular Sciences (EuChemMS) にオブザーバーを派遣して活動を行う。

⑤研究の奨励及び研究業績の表彰 (定款第 5 条(4))

• 2009 年度学会賞, 学会功労賞, 技術功績賞, 奨励賞, 有功賞, 「分析化学」論文賞

並びに先端分析技術賞を下記のとおり表彰する。

学会賞 (3 名以内)

学会功労賞 (5 名以内)

技術功績賞 (3 名以内)

奨励賞 (5 名以内)

有功賞 (50 名程度)

2008 年「分析化学」論文賞 (1 名)

先端分析技術賞 (3 名以内)

• 他機関による表彰および研究助成に対して会員を候補者として推薦する。

⑥その他目的を達成するために必要な事業 (定款第 5 条(5))

• 本会の活動並びに斯学術・技術の重要性をホームページ, 各種展示, 冊子の発行, 記者会見などを通じて広報する。メールマガジンを発行する。

• 若手交流会の活動を次のとおり行う。

分析化学討論会 (5 月, 和歌山) また年会 (9 月, 札幌) において若手企画シンポジウム・若手ポスターセッションを開催する (担当する各支部若手の会を支援する)。東京コンファレンス (9 月, 幕張) においてシンポジウムを行う。

・研究懇談会委員長会議を1回開催するとともに各研究懇談会の活動を次のとおり行う。

- 1) 有機微量分析研究懇談会
委員会を2回、第76回有機微量分析研究懇談会シンポジウム(計測自動制御学会・力量計測部会と共催、日本分析化学会関東支部、日本化学会、日本薬学会協賛、6月、大宮ソニックシティ)、講演会(第58年会会期中)を開催するほか、会報10号(2009年3月)を発行する。
- 2) ガスクロマトグラフィー研究懇談会
例会を数回、見学会、特別講演会、講習会を開催する。
- 3) 高分子分析研究懇談会
例会を6回、高分子分析技術講習会、第14回高分子分析討論会の開催。
- 4) X線分析研究懇談会
例会を数回、第45回X線分析討論会、X線分析講習会を開催するほか、「X線分析の進歩」を出版する。
- 5) 分析試薬研究懇談会
講演会2回(第58年会およびホスト・ゲスト化学シンポジウムでの招待講演)ほか懇談会1回を開催する。第5回ホスト・ゲスト化学シンポジウム(宇都宮大、5月末)の共催を行う。
- 6) 溶液界面研究懇談会
講演会、懇談会を各1回(第58年会会期中)開催するほか、通信による情報交換を行う。また、年会において界面に関するセッションを継続して開催できるよう、年会実行委員会への働きかけを行う。
- 7) 液体クロマトグラフィー研究懇談会
例会を数回、LCテクノプラザ、LC-DAYs 2009を開催する。
- 8) 化学センサー研究懇談会
センサー研究会合同ワークショップ、懇談会(9月第58年会会期中)を各1回開催するほか、例会の案内、化学センサー関連資料を配布する。
- 9) 電気泳動分析研究懇談会
懇談会を1回(9月)開催するほか、第29回キャピラリー電気泳動シンポジウム(11月、東大阪)を開催する。
- 10) イオンクロマトグラフィー研究懇談会
第3回日中韓合同イオンクロマトグラフィー討論会(6月頃、韓国・済州大学)、イオンクロマトグラフィー講習会(9月、東京コンファレンスと共催)、イオンクロマトグラフィー講演会(9月、第58年会と共催、北海道大学)、中日韓環境分析シンポジウム(9月、GC、HPLC、FIA各研究懇談会と共催、幕張)、2008年度イオンクロマトグラフィー討論会(12月、群馬大学工学部)。このほか、運営委員会を3回開催する予定。また「分析化学教育用ビデオ」の内容改訂(DVD化)を進めるとともに、ICに関する単行本の発刊を行う。
- 11) フローインジェクション分析研究懇談会
委員会を1回、「Journal of Flow Injection Analysis」(JFIA)誌編集委員会を2回、講演会(4月・Research for Better Life Quality: Symposium on Flow Based Analysis 2009 (Chiang Mai, Thailand)、9月・Flow Analysis XI (スペイン)、9月・第58年会会期中(北大)、時期未定・Separation Sciences 2009(SS2009)(開催地未定))を開催するほか、JFIA誌を2回(6月、12月)発行する。
- 12) 環境分析研究懇談会
講演会および講習会を3回(第56年会会期中、10月、12月)、サイバーワークショップを1回(10月)、幹事会を1回開催する。CJKシンポジウムに参加する。また適宜メーリングリストを用いた情報交換を行う。
- 13) 表示・起源分析技術研究懇談会
講演会を2回(7月、時期未定)、運営委員会を2回開催する。

・支部活動を次のとおり行う。

【北海道支部】

1. 夏季研究発表会(7月/苫小牧)、冬季研究発表会(2月/

札幌)

2. 化学教育研究協議会(11月上旬/札幌)
3. 第25回分析化学緑陰セミナー(7月/深川)、公開セミナー(9月/札幌)、第45回氷雪セミナー(1月上旬/小樽)
4. 支部ニュースの発行(7月、12月)

【東北支部】

1. 研究発表会:第3回みちのく分析科学シンポジウム、平成21年度化学系学協会東北大会、第44回秋田化学技術協会研究発表会ほかを開催の予定。
2. 講演会:地区講演会などを随時開催の予定。
3. 講習会:第13回分析基礎技術講習会を開催の予定。
4. セミナー:分離機能とセンシング機能の化学セミナー2009、第6回環境と分析化学「みちのく」セミナー、第32回分析化学若手交流会、第12回機能構造と分析化学シンポジウム、第25回無機・分析化学コロキウム、ほかを随時開催の予定。

【関東支部】

1. 講習会:第50回機器分析講習会、環境分析基礎講座を開催する。
2. 講演会:新潟地区部会研究発表会、茨城地区分析技術交流会、関東支部懇話会、新年交流会のほか、随時開催する。
3. セミナー:分析化学若手交流会のほか、随時開催する。
4. 支部ニュースの発行ほか常任幹事会で必要と認められた事項を行う。

【中部支部】

1. 研究発表会:第40回中部化学関係学協会支部連合秋季大会(11月、岐阜大学)を共催の予定。
2. 講演会:愛知・長野・福井で開催のほか、訪日学者講演会を3、4件開催の予定。
3. 講習会:第19回基礎及び最新の分析化学講習会(9月、名古屋)を開催の予定。
4. セミナー:第28回分析化学中部夏期セミナー(8月、静岡)、「分析中部・ゆめ21」若手交流会・第9回高山フォーラム(11月、高山市図書館)を開催の予定。

【近畿支部】

1. 講演会:近畿分析技術研究懇話会第12回講演会(3月)、支部講演会(4月、12月)を開催の予定。
2. 講習会:基礎分析化学講習会(随時)、第56回機器による分析化学講習会(7月、京都大学、京都工芸繊維大学)を開催の予定。
3. セミナー:提案公募型事業(随時)、基礎分析化学実習(随時)、平成夏期セミナー「ぶんせき秘帖」(8月)を開催の予定。
4. 高野山プレシンポジウム「分析化学の将来像とイノベーション」、ポストシンポジウム「分析化学若手交流シンポジウム@和歌山」(いずれも5月、第70回分析化学討論会時)
5. 支部ニュースの発行(随時)

【中国四国支部】

1. 研究発表会:現在のところ予定なし。
2. 講演会:中国四国支部分析化学講演会(3月、広島)、岡山・広島・周南・宇部・愛媛・徳島・島根・鳥取・高知地区講演会、外国人学者講演会を随時開催の予定。
3. 講習会:第46回分析化学講習会(8月、岡山)を開催の予定。
4. セミナー:第15回中国四国支部分析化学若手セミナー(7月、島根)を開催の予定。

【九州支部】

1. 研究発表会:第46回化学関連支部合同九州大会(7月)を開催の予定。
2. 講演会:第22回春の研究講演会(5月)、第27回夏期セミナー(7月)、支部講演会・見学会(11月)のほか、機器分析ワークショップや外国人講演会を随時開催の予定。
3. 講習会:第50回分析化学講習会(8月)を開催の予定。
4. その他:地区懇話会、支部ニュースの発行などを行う予定。

以上

平成 20 年 度 会 計 報 告

貸 借 対 照 表

(平成 21 年 2 月 28 日現在)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資 産 の 部			
1. 流 動 資 産			
現金及び預金	52,722,520	85,337,849	△32,615,329
未収金	9,903,274	12,763,229	△2,859,955
未収会費	19,391,000	16,746,290	2,644,710
未収収益	271,561	298,356	△26,795
棚卸資産	28,188,745	23,740,330	4,448,415
一年以内回収長期貸付金	210,620	149,800	60,820
前払金	5,369,699	5,402,280	△32,581
仮払金	100,000	292,347	△192,347
流動資産合計	116,157,419	144,730,481	△28,573,062
2. 固 定 資 産			
(1) 基 本 財 産			
定期預金	10,000,000	10,000,000	0
基本財産合計	10,000,000	10,000,000	0
(2) 特 定 資 産			
退職給付引当資産	98,112,360	97,524,080	588,280
標準物質開発基金	77,162,990	88,067,495	△10,904,505
分析技術教育基金	13,646,424	18,611,600	△4,965,176
国際交流事業基金	32,188,196	35,481,342	△3,293,146
学会施設拡充基金	33,624,558	38,551,808	△4,927,250
分析化学研究奨励基金	8,338,349	8,313,695	24,654
預り保証金引当預金	11,000,000	11,000,000	0
支部研究懇談会特定預金	28,812,099	17,310,053	11,502,046
特定資産合計	302,884,976	314,860,073	△11,975,097
(3) そ の 他 の 固 定 資 産			
建物	19,494,689	20,389,324	△894,635
器具備品	1,025,766	1,581,525	△555,759
土地	49,172,915	49,172,915	0
商標権	622,326	697,166	△74,840
ソフトウェア	12,507,462	0	12,507,462
電話加入権	28,000	28,000	0
敷金	100,000	100,000	0
長期貸付金	3,727,080	10,700	3,716,380
その他の固定資産合計	86,678,238	71,979,630	14,698,608
固定資産合計	399,563,214	396,839,703	2,723,511
資 産 合 計	515,720,633	541,570,184	△ 25,849,551

貸借対照表

(平成21年2月28日現在)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	15,902,258	8,869,682	7,032,576
未払費用	6,531,547	6,537,568	△6,021
前受金	7,518,300	7,559,685	△41,385
前受会費	17,181,491	17,636,750	△455,259
預り金	2,217,825	3,957,598	△1,739,773
仮受金	189,165	449,267	△260,102
流動負債合計	49,540,586	45,010,550	4,530,036
2. 固定負債			
退職給付引当金	110,263,992	100,767,354	9,496,638
預り保証金	11,000,000	11,000,000	0
固定負債合計	121,263,992	111,767,354	9,496,638
負債合計	170,804,578	156,777,904	14,026,674
Ⅲ 正味財産の部			
一般正味財産	344,916,055	384,792,280	△39,876,225
(うち基本財産への充当額)	(10,000,000)	(10,000,000)	0
(うち特定資産への充当額)	(193,772,616)	(206,335,993)	△12,563,377
負債及び正味財産合計	515,720,633	541,570,184	△25,849,551

正味財産増減計算書

(平成20年3月1日～平成21年2月28日)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
一般正味財産増減の部			
I 経常増減の部			
1. 経常収益			
(1) 基本財産運用益	50,245	33,000	17,245
(2) 特定資産運用益	1,179,754	1,545,679	△365,925
(3) 受取入金会金	161,000	251,000	△90,000
(4) 受取取会費	108,352,478	107,824,144	528,334
(5) 受取購読料	13,877,218	15,311,157	△1,433,939
(6) 事業収益	190,147,177	193,572,126	△3,424,949
(7) 受取補助金等	11,916,000	23,190,500	△11,274,500
(8) 雑収	2,695,227	805,111	1,890,116
経常収益計	328,379,099	342,532,717	△14,153,618
2. 経常費用			
事業費	(304,042,500)	(305,367,573)	(△1,325,073)
(1) 一般事業費	124,722,063	118,566,925	6,155,138
学術振興協議会	42,633,358	37,504,881	5,128,477
社会活動協議会	82,088,705	81,062,044	1,026,661
(2) 出版事業費	83,495,534	81,423,516	2,072,018
(3) 受託等事業費	1,743,135	8,981,318	△7,238,183
(4) 会議費	20,106,116	18,504,778	1,601,338
(5) 支払補助金	0	200,000	△200,000
(6) ICAS2011準備費	1,310,836	0	1,310,836
(7) 人件費	72,664,816	77,691,036	△5,026,220
管理費	(66,195,339)	(59,780,683)	(6,414,656)
(1) 人件費	37,025,478	29,114,546	7,910,932
(2) 通信運搬費	2,563,100	2,719,946	△156,846
(3) 印刷費	1,701,195	1,788,550	△87,355
(4) 減価償却費	1,450,394	1,403,159	47,235
(5) 商標権償却	74,840	38,224	36,616
(6) 備品・消耗品費	5,069,721	5,096,779	△27,058
(7) 旅費交通費	1,584,205	1,840,590	△256,385
(8) 共益補修費	1,702,650	1,785,012	△82,362
(9) 水道光熱費	425,210	437,987	△12,777
(10) 会計監査費	2,730,000	2,625,000	105,000
(11) HP維持作製費	1,306,378	551,637	754,741
(12) 職員表彰費	116,800	300,000	△183,200
(13) 会員管理費	1,828,649	1,112,114	716,535
(14) 支払負担金	2,768,736	3,402,153	△633,417
(15) 事務委託費	2,891,281	2,952,230	△60,949
(16) 租税公課	2,044,000	3,539,600	△1,495,600
(17) 雑費	912,702	1,073,156	△160,454
経常費用計	370,237,839	365,148,256	5,089,583
当期経常増減額	△41,858,740	△22,615,539	△19,243,201
II 経常外増減の部			
1. 経常外収益			
(1) 受取印税	1,982,515	0	1,982,515
経常外収益計	1,982,515	0	1,982,515
2. 経常外費用			
(1) 固定資産廃棄損	0	73,556	△73,556
(2) 過年度標準物質研究等受託収入修正額	0	247,476	△247,476
(3) 電話加入権減損損失	0	383,152	△383,152
経常外費用計	0	704,184	△704,184
当期経常外増減額	1,982,515	△704,184	2,686,699
当期一般正味財産増減額	△39,876,225	△23,319,723	△16,556,502
一般正味財産期首残高	384,792,280	408,112,003	△23,319,723
一般正味財産期末残高	344,916,055	384,792,280	△39,876,225
正味財産期末残高	344,916,055	384,792,280	△39,876,225

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
償却原価法を採用している。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
商品の評価は先入先出法による原価法を採用している。
- (3) 固定資産の減価償却方法
有形固定資産
建物…定額法を採用している。(ただし、平成10年3月以前に取得した建物については定率法を採用している。)
器具備品…定率法を採用している。
- (4) 引当金の計上基準
退職給付引当金…職員の退職給与の支給に備えるため、退職金支給規程に基づき期末自己都合要支給額に相当する金額を計上している。
- (5) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は税込み方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減等の内訳は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基 本 財 産				
定 期 預 金	10,000,000	0	0	10,000,000
小 計	10,000,000	0	0	10,000,000
特 定 資 産				
退職給付引当資産	97,524,080	588,280	0	98,112,360
標準物質開発基金	88,067,495	95,495	11,000,000	77,162,990
分析技術教育基金	18,611,600	34,824	5,000,000	13,646,424
国際交流事業基金	35,481,342	6,854	3,300,000	32,188,196
学会施設拡充基金	38,551,808	72,750	5,000,000	33,624,558
分析化学研究奨励基金	8,313,695	24,654	0	8,338,349
上野景平記念基金	0	0	0	0
預り保証金引当預金	11,000,000	0	0	11,000,000
支部研究懇談会特定預金	17,310,053	11,502,046	0	28,812,099
小 計	314,860,073	12,324,903	24,300,000	302,884,976
合 計	324,860,073	12,324,903	24,300,000	312,884,976

財務諸表に対する注記

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基 本 財 産				
定期預金	10,000,000	(—)	(10,000,000)	(—)
小 計	10,000,000	(—)	(10,000,000)	(—)
特 定 資 産				
退職給付引当資産	98,112,360	(—)	(—)	(98,112,360)
標準物質開発基金	77,162,990	(—)	(77,162,990)	(—)
分析技術教育基金	13,646,424	(—)	(13,646,424)	(—)
国際交流事業基金	32,188,196	(—)	(32,188,196)	(—)
学会施設拡充基金	33,624,558	(—)	(33,624,558)	(—)
分析化学研究奨励基金	8,338,349	(—)	(8,338,349)	(—)
預り保証金引当預金	11,000,000	(—)	(—)	(11,000,000)
支部懇談会特定預金	28,812,099	(—)	(28,812,099)	(—)
小 計	302,884,976	(—)	(193,772,616)	(109,112,360)
合 計	312,884,976	(—)	(203,772,616)	(109,112,360)

4. 担保に供している資産

該当なし

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建 物	62,107,932	42,613,243	19,494,689
器 具 備 品	6,625,813	5,600,047	1,025,766
合 計	68,733,745	48,213,290	20,520,455

6. 保証債務等の偶発債務

該当なし

7. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び時価との差額

満期保有目的の債券の内訳ならびに帳簿価額、時価及び時価との差額は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	帳簿価額	時 価	時価との差額
第44回利付国庫債券(2年)	59,631,193	60,210,000	578,807
第64回利付国庫債券(5年)	31,006,244	30,951,000	△55,244
合 計	90,637,437	91,161,000	523,563

8. 補助金の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内なら並びに交付者、当期の増減額及び残高は次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交 付 者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の 記載区分
補 助 金						
国庫補助金	日本学術振興会	0	7,100,000	7,100,000	0	一般正味財産
民間補助金	日本分析機器工業会	0	3,400,000	3,400,000	0	一般正味財産
民間補助金	化学物質評価研究機構	0	450,000	450,000	0	一般正味財産
合 計		0	10,950,000	10,950,000	0	

財務諸表に対する注記

9. 税効果会計関係の注記

(1) 繰延税金資産の発生的主要原因別の内訳

(単位：円)

未払賞与	559,658
退職給付引当金	12,065,931
繰越欠損金	40,567,691
繰延税金資産小計	53,193,280
評価性引当額	△53,193,280
繰延税金資産合計	0

(2) 法人税法上の非収益事業と収益事業の区分

(単位：円)

	非収益事業	収益事業	合計
税引前当期利益一般正味財産増減額 (A)	△13,711,891	△26,356,251	△40,068,142
寄付金損金算入限度額 (B)	0	0	0
小計 (C)=(A)+(B)	△13,711,891	△26,356,251	△40,068,142
法人税、住民税及び事業税 (D)	0	70,000	70,000
法人税等調整額 (E)	0	0	0
過年度法人税等調整額 (F)	0	0	0
当期一般正味財産増減額 (A)-(D)-(E)-(F)	△13,711,891	△26,426,251	△40,138,142

- (3) 法人税法上の収益事業に係る法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目の内訳
法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率の差異については、税引前当期一般正味財産増減額がマイナスであるため記載しない。

10. 関連当事者との取引の内容

該当なし

11. 重要な後発事象

該当なし

財 産 目 録

(平成 21 年 2 月 28 日現在)

(単位：円)

科 目	金 額
I 資 産 の 部	
1. 流 動 資 産	
現金預金	
現金手許有高	963,743
普通預金	
三井住友銀行五反田支店	2,428,993
三井住友銀行新宿通支店	542,392
みずほ銀行五反田支店	126,735
三菱東京 UFJ 銀行五反田支店	384,240
北洋銀行大通支店	1,053,091
七十七銀行大学病院前支店	2,505,452
みずほ銀行五反田支店	5,371,865
みずほ銀行名古屋支店	1,629,813
りそな銀行御堂筋支店	5,085,732
広島銀行西条支店	2,070,796
福岡銀行六本松支店	1,543,528
りそな銀行五反田支店	8,747,941
三井住友銀行麴町支店	3,152,008
もみじ銀行西条支店	1,751,321
大垣共立銀行中川支店	493,723
三菱東京 UFJ 銀行藤ヶ丘支店	1,352,109
三井住友銀行麴町支店	394,233
武蔵野銀行みずほ台支店	771,798
三菱東京 UFJ 銀行網島支店	531,928
群馬銀行桐生支店	338,242
みずほ銀行根津支店	2,898,330
北洋銀行北七条支店	135,734
三井住友銀行京都支店	2,080,896
郵便振替	
ゆうちょ銀行東京貯金事務センター	1,513,284
ゆうちょ銀行大阪貯金事務センター	3,000
ゆうちょ銀行名古屋貯金事務センター	549,000
郵便貯金	
広島大学内郵便局	203,223
三芳みよし台郵便局	1,233,040
定期預金	
広島銀行西条支店	1,300,000
りそな銀行五反田支店	1,566,330
未収金	6,482,427
明報社ほか会誌広告料他	
売掛金	3,420,847
標準物質, ビデオ	
未収会費	19,391,000
2007 年度会費未収分	
未収収益	271,561
大和証券未経過有価証券利息	
棚卸資産	20,764,833
標準物質, ビデオ, 会誌	
仕掛品	7,239,212
教育 DVD	
貯蔵品	184,700
切手ほか	
一年以内回収長期貸付金 職員住宅購入資金	210,620
前払金	5,369,699
脇田久伸ほか第 27 年会費用他	
仮払金	100,000
信興 会誌送料	
流 動 資 産 合 計	116,157,419

財 産 目 録

(平成 21 年 2 月 28 日現在)

(単位：円)

科 目		金 額	
2. 固 定 資 産			
(1) 基 本 財 産			
定期預金	中央三井信託銀行本店営業部	10,000,000	
基 本 財 産 合 計		10,000,000	
(2) 特 定 資 産			
退職給付引当資産	大和証券五反田支店等	98,112,360	
標準物質開発基金	大和証券五反田支店等	77,162,990	
分析技術教育基金	三井住友銀行五反田支店	13,646,424	
国際交流事業基金	中央三井信託銀行	32,188,196	
学会施設拡充基金	三菱東京 UFJ 銀行五反田支店	33,624,558	
研究奨励基金特定資産	中央三井信託銀行本店営業部	8,338,349	
預り保証金特定資産	中央三井信託銀行本店営業部	11,000,000	
支部・研究懇談会特定預金	七十七銀行大学病院前支店等	28,812,099	
特 定 資 産 合 計		302,884,976	
(3) そ の 他 の 固 定 資 産			
建物	事務所	19,494,689	
器具備品	コンバックラック	37,640	
	303 号室エアコン	46,000	
	間仕切りアコーデオン	8,920	
	リコーリコピーボード	14,568	
	304 号室マルチエアコン	35,001	
	液晶プロジェクター ep elp730	44,898	
	308 号室エアコン	60,131	
	エプソン emp-745	52,568	
	304 号室エアコン	341,284	
	305 号室エアコン	384,756	
土地		49,172,915	
商標権		622,326	
ソフトウェア		12,507,462	
電話加入権	7 回線	28,000	
敷金	近畿支部	100,000	
長期貸付金	職員、住宅購入資金	3,727,080	
そ の 他 の 固 定 資 産 合 計		86,678,238	
固 定 資 産 合 計			399,563,214
資 産 合 計			515,720,633
II 負 債 の 部			
1. 流 動 負 債			
未払金	環境テクノス他 標準物質作製費、社保料等	15,902,258	
未払費用	賞与引当繰入額	6,531,547	
前受金	技能試験次年度収益分、次年度受講料	7,518,300	
前受会費	会費未経過分	15,392,983	
前受購読料	「分析化学」ほか購読料	1,788,508	
預り金	品川社会保険事務所ほか 2 月分法定福利費他	2,217,825	
仮受金		189,165	
流 動 負 債 合 計			49,540,586
2. 固 定 負 債			
退職給付引当金		110,263,992	
預り保証金	広告料受入保証金ほか	11,000,000	
固 定 負 債 合 計			121,263,992
負 債 合 計			170,804,578
正 味 財 産			344,916,055

収 支 計 算 書

(平成20年3月1日～平成21年2月28日)

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
1. 基本財産運用収入	33,000	50,245	17,245	
2. 特定資産運用収入	1,200,000	1,179,754	△20,246	特定預金利息
3. 入会金収入	200,000	161,000	△39,000	
4. 会費収入	107,820,000	108,352,478	532,478	
5. 購読料収入	15,380,000	13,877,218	△1,502,782	
6. 事業収入	197,890,000	190,147,177	△7,742,823	年会, 討論会, 社会貢献事業ほか
7. 補助金等収入	15,170,000	11,916,000	△3,254,000	科研費, 受託事業収入ほか
8. 雑収入	658,000	2,695,227	2,037,227	
9. 長期貸付金回収額	150,000	283,620	133,620	
10. 未払印税振替高	0	1,982,515	1,982,515	
事業活動収入計	338,501,000	330,645,234	△7,855,766	
2. 事業活動支出				
1. 事業費支出	(296,956,000)	(313,356,769)	(16,400,769)	
(1) 一般事業費支出	121,740,000	140,330,164	18,590,164	
学術振興協議会	41,662,000	42,633,358	971,358	
社会活動協議会	80,078,000	97,696,806	17,618,806	
(2) 出版事業費支出	84,980,000	83,432,990	△1,547,010	学会誌の出版費
(3) 受託事業費支出	1,550,000	1,743,135	193,135	
(4) 会議費支出	19,839,000	20,106,116	267,116	
(5) ICAS2011準備費	1,500,000	1,310,836	△189,164	
(6) 人件費	67,347,000	66,433,528	△913,472	
2. 管理費支出	(65,620,000)	(65,450,075)	169,925	
(1) 人件費	34,321,000	33,760,128	△560,872	
(2) 通信運搬費	3,197,000	2,595,810	△601,190	
(3) 印刷費	2,512,000	1,701,195	△810,805	
(4) 備品・消耗品費	6,404,000	5,082,331	△1,321,669	事務消耗品, リース料
(5) 旅費交通費	2,190,000	1,584,205	△605,795	
(6) 共益補修費	1,800,000	1,702,650	△97,350	
(7) 水道光熱費	450,000	425,210	△24,790	
(8) 会議室拡充費	200,000	0	△200,000	
(9) 会計監査費	2,100,000	2,730,000	630,000	
(10) 職員表彰費	130,000	116,800	△13,200	
(11) 職員研修費	70,000	0	△70,000	
(12) 会員管理費	1,000,000	1,828,649	828,649	
(13) HP維持作製費	677,000	1,306,378	629,378	
(14) 負担金支出	3,284,000	2,768,736	△515,264	諸手数料
(15) 事務委託費	2,975,000	2,891,281	△83,719	
(16) 租税公課	2,800,000	2,044,000	△756,000	消費税ほか
(17) 長期貸付金支出	0	4,000,000	4,000,000	住宅資金の貸付
(18) 雑費	1,510,000	912,702	△597,298	
事業活動支出計	362,576,000	378,806,844	16,230,844	
事業活動収支差額	△24,075,000	△48,161,610	△24,086,610	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
1. 特定資産取崩収入	23,850,000	24,300,000	75,966,173	
投資活動収入計	23,850,000	24,300,000	75,966,173	
2. 投資活動支出				
1. 特定資産取得支出	2,300,000	12,324,903	85,541,076	
2. 固定資産取得支出	0	1,365,000	1,365,000	無形固定資産
投資活動支出計	2,300,000	13,689,903	86,906,076	
投資活動収支差額	21,550,000	10,610,097	△ 10,939,903	
III 予備費支出	1,350,000	0	△ 1,350,000	
当期収支差額	△3,875,000	△37,551,513	△33,676,513	
前期繰越収支差額	75,980,000	75,979,601	△399	
次期繰越収支差額	72,105,000	38,428,088	△33,676,912	

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、未収会費、未収収益、一年以内回収予定長期貸付金、前払金、仮払金、未払金、未払費用、前受金、前受会費、前受購読料、預り金及び仮受金を含めている。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

科 目	前期末残高	当期末残高
現 金 預 金	85,337,849	52,722,520
未 収 金 等	24,164,126	25,873,427
売 掛 金	5,345,393	3,420,847
未 収 収 益	298,356	271,561
一年以内回収長期貸付金	149,800	210,620
前 払 金	5,402,280	5,369,699
仮 払 金	292,347	100,000
合 計	120,990,151	87,968,674
未 払 金 等	15,407,250	22,433,805
前 受 金 等	25,196,435	24,699,791
預 り 金	3,957,598	2,217,825
仮 受 金	449,267	189,165
合 計	45,010,550	49,540,586
次 期 繰 越 収 支 差 額	75,979,601	38,428,088

3. 科目間の流用及び予備費の使用について

(1) 科目間の流用

該当なし

(2) 予備費の使用

予備費 1,350,000 円は本部、支部及び研究懇談会のもので、一般事業費及び会議費にそれぞれ使用している。

平成 21 年 度 収 入 予 算 書

(平成 21 年 3 月 1 日～平成 22 年 2 月 28 日)

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
1. 基本財産運用収入	33,000	33,000	0	
2. 特定資産運用収入	930,000	1,200,000	△270,000	特定預金利息
3. 入会金収入	100,000	200,000	△100,000	
4. 会費収入	106,568,000	107,820,000	△1,252,000	
5. 購読料収入	15,000,000	15,380,000	△380,000	
6. 事業収入	205,035,000	197,890,000	7,145,000	年会、討論会、社会貢献事業ほか
7. 補助金等収入	12,450,000	15,170,000	△2,720,000	科研費、受託事業収入ほか
8. 雑収入	546,000	658,000	△112,000	
9. 長期貸付金回収額	200,000	150,000	50,000	
事業活動収入計	340,862,000	338,501,000	2,361,000	
2. 事業活動支出				
1. 事業費支出 (308,162,000) (296,957,000) (16,400,769)				
(1) 一般事業費支出	123,168,000	121,740,000	(1,428,000)	
学術振興協議会	41,255,000	41,662,000	△407,000	
社会活動協議会	81,913,000	80,078,000	1,835,000	
(2) 出版事業費支出	84,610,000	84,980,000	△370,000	学会誌の出版費
(3) 受託事業費支出	1,500,000	1,550,000	△50,000	
(4) 会議費支出	19,484,000	19,839,000	△355,000	
(5) 助成金支出	200,000	0	200,000	
(6) ICAS2011準備費	1,500,000	1,500,000	0	
(7) 人件費	77,700,000	67,348,000	10,352,000	
2. 管理費支出 (75,126,000) (65,620,000) 9,506,000				
(1) 人件費	45,000,000	34,321,000	10,679,000	
(2) 通信運搬費	2,867,000	3,197,000	△330,000	
(3) 印刷費	2,020,000	2,512,000	△492,000	
(4) 備品・消耗品費	5,794,000	6,404,000	△610,000	事務消耗品、リース料
(5) 旅費交通費	2,120,000	2,190,000	△70,000	
(6) 共益補修費	1,800,000	1,800,000	0	
(7) 水道光熱費	450,000	450,000	0	
(8) 会議室拡充費	200,000	200,000	0	
(9) 会計監査費	2,300,000	2,100,000	200,000	
(10) 職員表彰費	0	130,000	△130,000	
(11) 職員研修費	50,000	70,000	△20,000	
(12) 会員管理費	1,100,000	1,000,000	100,000	
(13) HP維持作製費	880,000	677,000	203,000	
(14) 負担金支出	3,144,000	3,284,000	△140,000	諸手数料
(15) 事務委託費	2,699,000	2,975,000	△276,000	
(16) 租税公課	3,500,000	2,800,000	700,000	消費税ほか
(17) 雑費	1,202,000	1,510,000	△308,000	
事業活動支出計	383,288,000	362,577,000	20,711,000	
事業活動収支差額	△42,426,000	△24,076,000	△18,350,000	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
1. 特定資産取崩収入	40,050,000	23,850,000	16,200,000	
投資活動収入計	40,050,000	23,850,000	16,200,000	
2. 投資活動支出				
1. 特定資産取得支出	500,000	2,300,000	△1,800,000	
2. 固定資産取得支出	0	0	0	
投資活動支出計	500,000	2,300,000	△1,800,000	
投資活動収支差額	39,550,000	21,550,000	18,000,000	
III 予備費支出	370,000	1,350,000	△980,000	
当期収支差額	△3,246,000	△3,876,000	630,000	
前期繰越収支差額	38,428,000	75,979,000	△37,551,000	
次期繰越収支差額	35,182,000	72,103,000	△36,921,000	